

# ひまわり



令和3年2月22日(月)

## アインシュタイン



テレビのお天気キャスターが、「寒暖差のある日が続いています。このような時期は、自律神経が乱れて疲れやすくなったり、体調を崩してしまうこともあるので注意してください」と言ってました。

そう言えば、このところ、季節の変化に体がついていかないと思っていたところでした。春の兆しに油断せず、あらためて衛生管理・睡眠・食事に留意した生活を送りましょう。

先週末は、20世紀最高の天才物理学者アインシュタインについて書かれた「3-MINUTE EINSTEIN（3分でわかるアインシュタイン） ポール・パーソンズ著」という本を、あらためて読み返しました。

アインシュタインの有名な業績は「特殊相対性理論と一般相対性理論」。「相対性理論」という言葉だけは聞いたことがある、という人もいるでしょう。「特殊相対性理論」で導きだされる公式は「 $E=mc^2$ 」。中学2年生で学習する2次関数です。（ $y=ax^2$ と同じ）しかし、こんな簡単な式が、とても恐ろしい兵器の開発に結びつきます。それは広島と長崎に投下された原子爆弾です。 $E$ はエネルギー爆発の威力。 $m$ は物質の質量。 $c$ は光の速さ。難しい話を抜きにすれば、物質（広島ではウラン、長崎ではプルトニウム）からとてつもないエネルギーを取り出すことができるのです。これにより、多くの人の命が奪われました。彼は、原爆投下をとても悔やみました。そして、次の言葉を残しています。

「私は生涯において一つの重大な過ちをした。それはルーズウェルト大統領に原子爆弾を作るよう勧告した時だ」。また、死の前年（1954年）には、「もし広島と長崎のことを見ていたなら、1905年に発見した公式（ $E=mc^2$ ）は破棄していただろう」とも語っています。

原爆投下は、彼の晩年の生き方を大きく変えます。平和運動に力を注ぎ、原子力科学者による委員会を創設して核兵器拡散防止のためのキャンペーンも行いました。

彼のそんな生き方を象徴する言葉があります。「私が信じるのはただ一つ、他人のために生きる人生のみが生きるだけの価値があるということだ」。人として噛みしめたい言葉です。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索

